

福島県教育委員会

教育長 鈴木淳一様

要 望 書

(高等学校教育の充実のために)

令和2年9月8日

福島県高等学校PTA連合会

会 長 黒 森 陽 一 印

本会の運営及び各種活動の実施に当たりましては、日ごろから御理解と御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

また、本県高等学校教育の充実・発展をはじめ、未来を担う心豊かでたくましい人づくりのため、さまざまな形で御尽力をいただいておりますことに深く敬意を表する次第です。

さて、社会の急激な変化に対応するため、本県においても高等学校の再編整備が始まろうとしておりますが、そのような中、新型コロナウイルスの感染拡大は、学校の教育活動にも大きな影響を及ぼしております。今後を見通すことが困難なところではありますが、適切かつ柔軟な対応により、次代を担う子どもたちが望ましい成長を遂げることができるよう、とりわけ大きな役割を担われる教育行政への願いとして、以下の要望を取りまとめましたので、お聞き届けくださるようお願い申し上げます。

なお、この要望の趣旨は、学校・家庭・地域が連携しながら子どもたちのよりよい成長を支えていくため、福島県教育委員会の御指導をいただきながら、本会会員が一丸となって諸課題の解決に取り組む姿勢を表すものであることを御理解くださるようお願い申し上げます。

1 教育環境の整備充実について

- (1) 県立高等学校の改革が本格的に始まろうとする中、学校の再編に当たっては、学校関係者のみならず広く地域の理解を得ながら進めるとともに、それぞれの実情を踏まえた魅力と特色ある学びや地域を担う人材育成の場となるよう配慮をお願いしたい。
- (2) 長期にわたる新型コロナウイルス感染症対策の休業によって、ICT環境整備の重要性が浮き彫りになっており、オンライン授業等を円滑に行うことができる学校のネットワーク環境の高速大容量化、全ての生徒が家庭で授業等の情報を受信できる端末やルーターの貸与及び通信費の補助等、学びを保障するための環境整備に早急に取り組まれるようお願いしたい。
- (3) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学校の施設設備及び学校生活のあり方を「学校の新しい生活様式」に対応するものとするとともに、感染者が出た場合に万全の対応ができる体制等、安全・安心な教育環境の整備をお願いしたい。

2 生徒の進路実現のための支援について

- (1) 生徒の就職先確保のため、企業に積極的な求人・採用を働き掛けるとともに、新型コロナウイルスに係る休校で空白が生じた就職関係の各種スケジュールの調整、ミスマッチを避けるための発想を新たにした取組等、生徒が希望する仕事に就くことができるよう、手厚いサポートをお願いしたい。
- (2) 大学入試に関して、新型コロナウイルス感染症対策の休業によって、学習到達度の地域差や既卒者との格差が生じることのないよう、出題範囲等への配慮を関係各所に働き掛けるとともに、例年とは異なる形になることが予想される入試に的確に対応し、進路希望を達成できるよう指導をお願いしたい。

- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響により、就職や進学において大きな評価ポイントとなる部活動の各種大会や資格試験が予定どおり行われていないため、選考に当たって生徒が不利益を被ることのないよう、適切な評価や配慮について関係各所への働き掛けをお願いしたい。

3 高校生の健全育成について

- (1) SNS等を通じたトラブルやいじめ、なかなか顕在化していない覚せい剤や危険ドラッグ等薬物の乱用、性非行等の問題から子どもたちを守るため、関係機関等が一体となった対策の強化をお願いしたい。
- (2) 新型コロナウイルス感染症に伴う長期休業や学校再開後の生徒の心理的な不安を解消するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の一層の活用、SNS等を活用した相談体制の整備等、更なる支援の充実をお願いしたい。

4 学校の教育活動に関する予算、その他について

- (1) 生徒数の減少、学校規模の縮小に伴い、多くの面で学校の教育活動を支えてきた各単位PTAも財務面で厳しい状況に直面している。学校の教育活動の充実とPTA活動の維持及び活性化のためにも、学校運営に係る県費等の予算拡充をお願いしたい。
- (2) 新型コロナウイルスの感染拡大が、経済にも大きな影響を与えることが想定される中、家計の急変を考慮した各種支援金・給付金・奨学金等の拡充や支給要件の見直し等により、経済的理由で生徒の就学・進学機会が奪われることのないよう、配慮をお願いしたい。